

「愛知用水期成促進陳情書」：1949（昭和 24）年

愛知用水の関するもっとも初期と思われる「陳情書」である。末尾に月日は未記入で昭和 24 年（1949 年）とあり、「愛知用水の趣旨と理想」の制作と並行してまとめられ、陳情活動のために作成したものと思われる。

農業用水のみならず飲料用水、工業用水、防火用水及衛生用水等に利用し、また木曾川下流域の洪水対策も念頭に置いている。その上で愛知用水計画こそ諸要請に応じる総合的国土計画であり、「日本型 T・V・A を以て任じたまき所存」と述べ、関係当局に支援を懇願している。

愛知用水事業の最初の正式な陳情は、1948（昭和 23）年 12 月であった（これ以前にも久野、緋田は上京し、緋田の旧知の官僚などとの接触を試みている）。ここで吉田首相と直接の面談を得る機会に恵まれ、愛知用水は大きく前進したといえる。昭和 23 年 12 月の陳情以降、知多農村同志会は米国の T・V・A 計画を知り、これに大きく影響を受けた。

